



令和2年度

園だより

7月

文京区立根津幼稚園



子どもたちの声が響く嬉しさ

副園長 野本 和美

6月1日から幼稚園がスタートしました。分散登園や少しずつ伸びる保育時間の対応など、保護者の皆様には様々にご協力をいただき、本当にありがとうございました。お弁当も始まり、やっと幼稚園での生活が整ってきました。子どもたちは、毎日「おはようございます」の元気な声とともに幼稚園に駆け込んでいます。その笑顔がきらきらと輝き、迎える先生たちの顔にもこにこです。長い自粛期間中、子どもたちに会えないことがこんなに寂しいことなのか、と教職員一同で実感した分、子どもたちと過ごす生活の楽しさを感じる1か月となりました。

りす組は、当初こそ泣いていた子がいましたが、今は登園してくるとすぐに身支度を済ませ、好きな遊びを始めます。ままごと、粘土、積み木、外では砂場や三輪車を楽しんでいます。特に踊りを踊ることが大好きで、音楽が流れると自然と体が動きノリノリで動いています。

はな組は、初めて使えるようになった中型積み木で家や店を作り、ごっこ遊びをしています。フルーツバスケットや鬼ごっこなど、先生や学級の友達と動くことも楽しんでいます。はな組さんすごいな、と感じた出来事がありました。りす組がトイレに入ろうとしたところに、はな組もやってきました。教師が「りす組さん時間がかかるから、先に入ってもいいかな」と聞くと、さっとトイレの前を開けて譲ってくれました。そしてりす組全員が終わるまで待っていてくれました。小さい子がいる環境が自然とお兄さん・お姉さんに成長させるのね、と嬉しく見ていました。

ほし組は、遊戯室で巧技台や大型積み木で場を作り、ダイナミックに遊んでいます。大きな遊具なので互いに声を掛け合いながら運んでいます。年長ならではの当番活動も始めていて、お休み調べ、水やり、もこちゃん当番、弁当当番、と目白押しです。「〇〇ちゃんどこ?」「当番だよ」と声を掛け合う姿も初々しく、でも自分たちの役割をやろうという気持ちが表れていてたくさんを感じます。これも立場が人を育てるということでしょうか。「年長さん、よろしくね」とつい声を掛けたくなる毎日です。

短い1学期となりますが、教師との関係をしっかりと築きつつ、必要な経験ができるように環境を整えていきます。



りす組 楽しいままごと



はな組 みんなで鬼ごっこ



ほし組 水やり当番